

# 光市医師会報

*I am a Doctor*



*an Oculist*

No 166  
昭和61年8月発行  
光市医師会

## 医師会月間行事

7月理事会

7月8日 於光医師会館

- 1、学校保健担当理事協議会報告
  - 61年度学校医大会案内
  - 心臓検診A・B・C方式について、及び生徒突然死の報告
  - 要望事項：眼科より運動場の消石灰使用に関しての問題点  
耳鼻科より運動会のピストル使用上の問題点

○山口県医師会主催、学校医研修会

9月11日

福本副会長出題予定：学童の心臓検診について

- 2、医師会館にVTR設置について
  - 3、胃癌直接検診について(以上副会長)
  - 4、納涼懇親会、野球観戦、球技大会の件について(藤原理事)
  - 5、7月15日健保組合、懇談会報告(中村琢理事)
  - 6、4月～6月、収支決算報告(近藤理事)
- 7月 月例会
- 1、医師国保通常組合会議報告(会長)
  - 2、学校保健担当理事協議会報告(副会長)
  - 3、国保出張受付の注意事項(副会長)
  - 4、労務担当理事協議会報告(中村琢理事)
  - 5、健保組合との懇談会報告(中村琢理事)
  - 6、雑件：A、医学会総会開催のお知らせ  
B、高校総体より処置状況証明  
料金免除のお願い

研修会

演題：『泌尿器科に於ける、最近の化学療法』

講師：山口大学医学部

泌尿器科学教室助教授

山本憲男 先生

7月22日 7:00PM～8:30PM

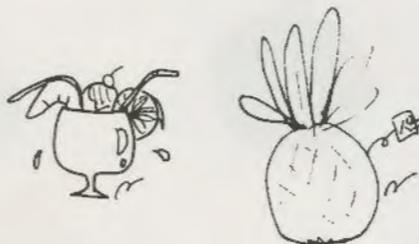
於 医師会館

### 第5回卒後(生涯)研修 セミナーに参加して

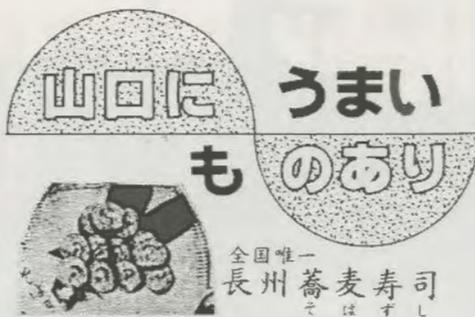
藤原邦彦



連日降り続いた雨も今日7月13日(日)は晴れて、勉強にはもったいない!?にもかかわらず、光市医師会第2回バス研修は行なわれた。午前中は「最近の予防接種の動向」と「現代人の不安とストレス」の特別講演、午後は各科領域における画像診断の進歩をパネルディスカッション方式でI：中枢神経



系、Ⅱ：呼吸器領域、Ⅲ：肝腫瘍、Ⅳ：循環器領域、Ⅴ：産婦人科領域、について各演者の発表があった。日本医師会の生涯教育への取りくみもあってか、参加者は多数で、会場は一杯であった。我が医師会も20名の参加をみ、真剣に聞いて勉強になったが、富恵先生は我々の為に東京庵のソバ寿司を買いにセミナーを中座されたことは誠に残念であったことであろうと心中お察し申し上げます。おかげで帰りのバスはソバ寿司に飲み物で楽しく過ごせました。



### 梅雨曇 片々の回想



大野宗二

梅雨はまだ明けない。どんよりと曇った梅雨空にしとしとと雨が続き、湿度は高く、頭は重く、気分も冴えない。遅残りのあじさいの花を眺めつつ、とりとめもなく片々と回想がよぎる。此の稿が出る頃八月が来る。8月6日広島に原爆の投下された日である。此の日旧友の半数、在広島の親戚三人

が無惨に死んだ。私は当時現福岡飛行場の前身、戦争時の板付飛行場の陸軍航空戦隊に軍医として所属していた。毎日が救護所の設営



で裏山に穴を掘り続けた。連日死に趣く若い突攻隊員を見送って悲しい思いに明けられた。定期的にやってくるグラマンの襲撃になすすべもなく防空壕の中に逃げた。飛行場に残った対空機関銃手はザクロの如く裂けて死んだ。世界に誇った連合艦隊は殆んど壊滅して司令長官は陸に上り、迎えつつ戦闘機も底をつき、アメリカの膨大な戦力に驚嘆し敗戦の予感が胸をよぎった。八月六日広島、八月九日長崎と原爆により十数万の人々が地獄絵さながらに無惨な死に追いやられた。数十万人が負傷し、幸い生き永らえた人も後遺症に悩んでいる。八月六日広島に出張していた兵士が原隊に帰ってきた。血便を出して死んだ。原子爆弾とは知らないその時は赤痢と診断した。原爆症を赤痢と誤診したのである。八月十五日所謂玉音放送を聞くため、隊長以下士官以上医務室に集合した。放送は雑音がひどくて何がなんだか、さっぱり内容が分らなかった。一億玉砕戦争に邁進せよとの言葉



だろうと言ふ者もいた。間もなくして降伏、戦争終結の事を知らされた。悲しいようなほっとしたような複雑な気持ちであった。将来の不安がよぎった。アメリカの捕虜となる流言がとんで、みんなの不安を一層かき立てて多少の混乱があった。此の日まで禁じられていた夜間の燈火も解除された。毎日毎日、暗闇の中で過した者に夜間電燈の輝きは、強裂にまぶしかった。鮮烈な印象として今も残っている。光とはこんなに有難いものかと思った。戦争はもう御免だ。核兵器よ地球上からなくなれ。とりとめもなき片々の回想は昭和十四年より五年間中支戦線に及ぶのだが、このへんで稿を閉じる。わが青春は戦争の中にある。



得、成田を出発した。20数時間にも及ぶ機内、ウォークマンで発表原稿を繰り返し練習、予想質問対策もたてた。『いざ鬼畜米英、怨敵アングロサクソンめ。現に日本は経済では勝っているではないか』などと考えつつ寝たり起きたりしていると、いよいよスウェーデンに着いた。そこは石の建物と青眼金髪の国であった。



学会第1日目。開会式。スティルベルグマーク教授の挨拶、ゆっくりとした英語だがわからん。学会のお手伝いとして奥さん娘さん息子さんの紹介があったが、2番目の娘さんの名前を度忘れしてなかなか出てこないのには一同大笑いであった。演出として地元の幼稚園児が参加各国の国旗を持って入場してきた。子供達は目鼻立ちがはっきりしていて可愛い。

早速英語に慣れる為、興味のあるセッションに座わり込んだ。日本人の英語は何とかわかるが、本物の方は早口でさっぱりわからぬ。スライドが唯一の理解の手助けで

## スウェーデンでの学会に 参加して

市立病院外科 鳥枝道雄

国際肝胆道脾臓外科学会に発表の機会を



ある。それでも3日間通いつめると、ははあこいつはこんな事を質問しているなど何となくわかるようになった。

いよいよ発表。6分発表そして魔の8分討論である。質問その1はヒゲをたくわえた英国人めであった。何とか答えたが、明らかに英国人に失望の色がみえた。ドイツ野郎が助け舟を出してくれた。流石にかつ



ての盟邦である。肺炎のセッションの一番最後の発表だったので各国が感想所感を言いあって8分間は終わった。

岡大の助教授が言っていた。「日本はどんないい実験をしても、英語の質問に答えられんから馬鹿にされる。日本の英語の教育は間違っている。」そうだそうだその通り。

我輩はホテルから学会会場まで、バス、タクシーに乗るのもためられ、ために石畳の道を革靴で連日歩いて通った結果、左下腿腱鞘炎をきたし、帰国してから多大の労務支障をきたした。文法構文なんかどうでもいい、聞ける話せる英語の力が必要であると実感した。思えばタバコ一箱買うのにも大苦勞であった。

又機会があれば国際学会に発表してみたいと思う。今度は可愛いワイルドも連れて行こうと。



### うちかたの先生、

—高橋建次先生の巻—



うちかたの先生は、外見、とっつきにくく、堅そうに見えますが、心実は……

←ご自分の趣味と一致すると、誰彼なしにお話はずみ、時には診察時間に影響が出て、待合室の患者さんイライラ、職員ハラハラ。今、凝って

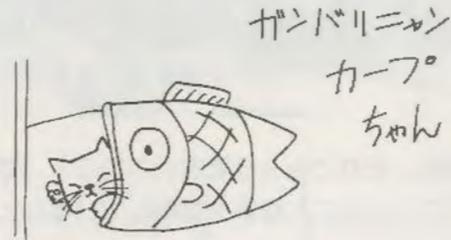
いらっしゃるのは、カメラ、カラオケ。なぜ被写体が市内一美女揃いの私達職員ではないのでしょうか？世の中にこんな美しいものがあつたのかと“お花”ばかり。夜もふけて、カラオケの練習を始められると、そのスバラシイ唄声を耳にしたかわいい二匹のワンちゃんと奥様はなぜか!!よその部屋へ退散されるそうです。ちなみに、先生



の十八番は「氷雨・螢川」

「飲みから帰って、喜んで玄関に迎えに出てくれるのは犬だけだ」とぼやかれながらも、奥様が三人のお子様の所へ行かれた時は、それはそれは淋しそうに、ワンちゃんと一緒に奥様の帰りを待っておられます。

熱烈なカープファンでアンチ巨人。巨人が勝った日は大変ご機嫌が悪く、カープが勝つまで続きます。毎日、先生のご機嫌うるわしいように“フレー フレー カープ”



どなたか巨人びいきの方がいらっしゃったら、ごめんなさい。

おやっ?どなたかうちかたの先生の噂話が、悪口か?先生のヒェイクションと大きなクシャミ。このクシャミは院内名物!!で病院中どこに居ても聞えます。

意外な面ばかりをご披露してしまいましたが、仕事に関しては厳しく、研究熱心で「何もわからん田舎医者にだけはなりたくない」とおっしゃって、よく勉強なさいます。余裕があれば、少しでも性能の良い機器を取り入れ、より迅速に、より正確なデータを得て診療に活かしたいと常に前向きの姿勢が伺えます。メカに弱い私達職員は、なかなか先生のご期待に添えません。

自慢の黒髪にもちらほらと白いものが混り始め、この頃しきりと歳だとぐちられる先生。いやいやまだお若い!!でも少々お腹のあたりの出具合が気になります。甘いもの(先生はタバコはだめです)は控え、お好きなゴルフに精出されて、気分転換と健康維持につとめられ、ますます若返って下さい。

ご家族はもとより、患者さんも私達職員も頼りにしてますうちかたの先生。

## 思い出の新婚旅行

守友雅彦



「思い出の新婚旅行」と言われても、脳動硬化のせいかな鮮明には思い出せない。

39年6月。さいはての原野に、はてしなく広がる緑の大地、深い原生林の中に神秘を秘めた湖水、火山や温泉等詩情豊かな北海道。

千歳空港より札幌へ。雄大な広がりをもつ地平線へ、空を赤く染めながら沈んで行く夕陽を眺めながら。(小林旭が外国の古い映画の一コマだったかもしれない。)

札幌の時計台、大通公園、北海道大学のポプラ並木、クラーク博士の胸像、北大附属植物園。定山溪、中山峠、支笏湖、白老町(アイヌ)、登別温泉(地獄谷、クマ牧場)、洞爺湖、有珠山、昭和新山等をまわったように思う。

湖もよかったが、うっ蒼と茂った原生林がより印象的だったように思っていますが、さて具体的場所、風景として眼前に蘇って来ない。22年前の事である。正常?、病的?。冗談でなく不安になって来た。しかし、はっきり記憶している事もある。

北海道と言えば毛ガニである。ホテル、旅館では、チップ(ヒメマス)料理が多かったのですが、北海道に来たからには、毛ガニと思い、料理屋では高くつくので、新婚旅行中と言うのに、市場で茹でた毛ガニをダンボール箱で買って、たらふく食べた事を思い出す。全部食べられませんでした。

旅の始めに、土産物としてクマ彫りをかなり買って郵送したのと、移動にタクシーを多用したのとで、金が足りなくなり、阿寒湖、摩周湖方面へは行けなくなり、家内にはすまなく思っています。今もって時々その事を言われます。



これが我がオンボロ人生の始りでした。

いつの日か、この新婚旅行の続きをやらねばと思っていますが、いまだに金と暇がなく実現していません。

### あ と が き

暑中御見舞申し上げます

この1ヶ月間、如何お過しでしたか？  
そろそろ、我が家の裏の海岸も騒がしく  
なって来ました。夜中（夜明け？）まで、  
ヒューポンという、花火の音と爆竹のサ  
クレツ音がしており、国道では、又夜中  
まで暴走族の車の騒音がしております。  
どういう訳か、これらが夏到来を告げる、  
風物詩となってしまった様です。

皆様原稿依頼に快く応じていただき、  
とても感謝いたしております。光医師会  
に籍をおく限り、1年に1～2回原稿を

書くつもりにしています。又依頼さ  
れたら、ニッコリ!!「よっしゃ」と言っ  
て下さい。いつも電話のむこうでは、最  
敬礼!!をしてお願ひしている姿に免じて  
..... 梅田



|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 発行所 | 光市医師会<br>TEL 0833 72-2234 |
| 発行者 | 竹中昭二                      |
| 編集者 | 会報編集委員会                   |
| 印刷所 | 光市御崎町<br>中村印刷株式会社         |